

武蔵引田駅北口土地区画整理事業の推進を求める陳情

1 趣旨

- ①武蔵引田駅北口土地区画整理事業に関しては、地権者との約束に基づき、計画通りに事業を推進し、早期に完成させること。
- ②事業を早く進めて欲しいという大勢の意見があることを真摯に受止め、事業に取り組むこと。
- ③地域を支える主要駅において、利用者にとっての利便性の改善、安全性の確保の為、駅前整備を早期に実現すること。

2 理由

本事業の計画は、平成12年に地元の町内会へ示され、その後、アンケート調査や意見交換などを行い、事業化に向けた取り組みが進められておりました。ところがその後、地権者の一部の有志から、「武蔵引田駅周辺地区の区画整理計画の撤回を求める要望書」が提出され、事業は一時停滞しました。市においては、これらの地権者と精力的に話し合いを進められ、平成20年9月には、撤回を求める要望書が総て取り下げられる事となりましたが、その時点で既に8年の歳月が経過しておりました。

その間、引田駅北口地区の居住者においては、土地区画整理事業の施行を理由に、下水道の整備が先送りにされ、市内の多くの他地区が、公共下水道の恩恵を受ける中、文化的な生活が棚上げにされてきました。

その間に進む地権者の高齢化も深刻な問題であり、事業の発表から19年の歳月が経過した今日、事業の早期完了は待ったなしの状況です。

その一方では、平成27年3月に本地区が、市街化調整区域から市街化区域へ編入されたことから、課税も年々上昇しております。私共は、市街地に見合った土地の有効利用ができることを前提に、市街化区域編入に合意してきました。一日も早い事業の完成は、施工者の責任の下、確実に果たされなくてはなりません。

武蔵引田駅は、地域を支える主要駅であります。整備が不十分な駅前広場の為、通勤通学時に歩行者と送迎車が交錯するなど、大変に危険な状況にあります。特に雨天時にはその状況は深刻です。また、駅周辺に外灯が少なく、夜間の安全性にも問題があります。駅前にふさわしい最低限の機能を確保する為には、駅前空間の整備が不可欠です。

平成28年3月に事業が開始された際には、施工者である市から10年間という事業計画が示され、この期間で事業を完成させるという約束が、地権者へ示されました。事業が開始されたからには、本事業を早期に完成させ、投資効果を速やかに発揮させることが、何より肝要です。



市においては、現在本事業が置かれた状況を正しく認識していただくとともに、私共の声を真摯に受止め、上記の要望を必ず果たしていただきたく、ここに陳情いたします。

令和元年8月22日

陳情者

あきる野市引田613-1

山下芳雄



■■■■■■■■■■

あきる野市引田811-10

飛沢俊夫



■■■■■■■■■■

あきる野市引田791-2

田村 稔



■■■■■■■■■■

あきる野市引田13-27

椋田



■■■■■■■■■■

あきる野市議会議長 天野 正昭 殿